

教科シラバス								
◆教科	総合応用技術	◆科目	ネイル検定1級対策	◆科目コード	60722	◆授業の方法	実習	
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年(通年)	◆担当教員	非常勤講師 (実務経験あり)	◆授業の回数	3h × 90回(各10回)	
◆受講対象者	ネイルコース選択者							
◆授業の目的と概要	トップレベルの総合プロネイリストとして必要とされる、イクステンション、リペア、アートの総合的な技能及び知識が要求される							
	ネイリスト技能検定試験1級に合格することを第一の目的とするが、この授業で習得した技能および知識を、ネイルサロン実務でも応用が利くように、ネイルサロンにおいてネイリストとして実務経験のある教員が、その経験を活かした授業を行う。							
◆到達目標	ネイリスト技能検定試験1級に合格し、サロンワークに対応できるアクリルスカルプチュア技術の修得につなげていく。							
授業計画	回	◆内容					◆小テスト	
	§ 1	教材配布、説明。アクリルスカルプチュア学科(材料学)					チップ盛り	
		ミクスチュアコントロール(ボール取り)						
		アプリケーション						
		・ブラシワークが正しくできているか(シート盛り) ・ローリングや角度が正しくできているか(ピンチ棒盛り、チップ盛り)						
	§ 2	フォーム装着					フォーム装着	
		・フォームの持ち方、装着の仕方、装着時の注意点の説明					アプリケーション	
		・正しくフォーム装着をし、アプリケーションができていないか(ハンド)					ピンチング	
		・色々な爪の形に対応しフォーム装着を適正に行い、アプリケーションができていないか(相モデル) ピンチング ・ピンチングについての説明 ・ピンチングのタイミング、位置、入れ方が正しく行われているか						
	§ 3	チップオーバーレイ(相モデル)					チップオーバーレイ	
		・爪に合ったチップのサイズ選びができていて正しく装着されているか ・1級採点項目基準でアプリケーションの完成度が高いか						
	§ 4	ファイル					ファイル	
		・ファイル時の持ち方、支え、ファイル順序が正しくできているか						
		・アウトラインファイルが正しくできているか(先端・立て削り) ・表面ファイル(凹凸がなくスムーズな仕上がりがかりか・サイドストレートが適正か・スクエアオフが出来ているか)						
§ 5	・テーマに相応しいデザインであり、色彩が豊かでデザインのバランスがとれ細密度が高いアートを作成					1級アートテスト		
	・3Dアートをメインアートとし、フラットまたはエンボスを組み合わせた仕上がりが ・時間内にアート制作ができていないか							
§ 6	・サロンワークに適した、日常生活に対応できる程度の強度、耐久性のあるアプリケーションが できているか					イクステンション統一		
	・1級採点項目基準でアプリケーションがバランスよく統一できているか							
§ 7	・1級採点項目基準でアプリケーションの完成度が高いか					アプリ・ファイル完成度		
	・1級採点項目基準でファイル後の完成度が高いか ・ハイシャイン(曇りや傷がなく艶が出ているか)							
§ 8	・モデルの扱い方が丁寧で効率的であること					1級模擬試験①		
	・器具の使い方が正しく、手際よくリズムカル・スピーディであること					※検定試験採点基準		
§ 9	・1級検定指定時間内にて1級採点項目基準での完成度が高いか					1級模擬試験②		
	・モデルの扱い方が丁寧で効率的であること					※検定試験採点基準		
	・器具の使い方が正しく、手際よくリズムカル・スピーディであること ・1級検定試験実習を通してサロンワークに対応できる技術と知識が身についているか							
◆主な使用教材	『JNAテクニカルシステム ベーシック』(NPO法人日本ネイリスト協会)							
◆評価方法及び基準	授業8割以上の受講をもって、1級模擬試験および各sectionにおける小テストの合計点数により評価する。							
	①検定模擬試験→ネイリスト技能検定1級実技採点基準に沿って採点し、§ 8～§ 9の平均を65点換算する。							
	② § 1～§ 7における小テスト→1回あたり5点 × 7回=35点							
	【評価】90～100点→A、70～89点→B、60～69点→C、59点以下→D ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。							